第二項保留、第三項、承認、第四項、出事後に限ること。
第五項、第四項の行へハ十七年二月末日迄とす。
救護院長ハ翌二十日之ヲ記念祭次ノ従業員一同ニ報告スルコト。
第六項異議ナク承認、先ツ解散セリ。
従業員側ニ在リテハ殺上ノ通リ数項要項ノ大体会社側ノ答ヘ、所ナリシヲ以テ結果カヲ異ニセルヲトニ今回ノ歎契機ニ労資間ニ組合統一ノ計画ノ進ム大体既ニ成リ労資共ニ名物ノ二月二十五日ノ和解ニ至ル迄ハ無事ニ於テ契約ノ段取リニ至ラン処無ク会社ノ関ル処トナリ二十四日ノ救護ノ組合会長信神山林

（協調會勞働課）